



学校教育の教育活動を通して、次代の発展を担うに必要な資質と能力を育み、文化を継承し、その価値の尊さを大切にできる心豊かな人間の成長を目指します。そのためには、「**自立・共感・貢献**」を本校の教育活動の要として、全教職員が生徒一人一人を深く理解し、個性を大切にし、公平で、きめ細やかな指導を行います。丁寧な対応と徹底した実践は、安心な学校、満足できる学校、保護者や地域から信頼される学校を生むこととなります。創立80周年を迎える本校の歴史と伝統を尊重し、教育目標の達成に向けて一丸となり、生徒・保護者・地域の期待に応える千川中学校を創り上げていきましょう。今年度からコミュニティースクール（CS）が導入となります。地域と学校が協働して学校づくりを進めるという考え方のもと、これまで以上に子どもたちの健全育成を充実・発展させていきます。

### 【1 学校の教育目標】

明日をになう人間性豊かな生徒を育成するために、次の目標を定める

- 深く考え、自ら学ぶ生徒
- 心あたたかで、礼儀正しい生徒
- 健康で、たくましい生徒

### 【2 本校の特色ある教育活動】（令和8年度教育課程届より）

#### ① 地域に貢献できる安全教育・防災教育

発災時の生徒の貢献を視野に、地域の方の知識・経験によって、対応力を高める各学年の取組、毎年行うことによる実践力を付ける活動を充実させる。防災ジュニアスタッフによる防災訓練の実施、消防団を含む地域ボランティア・消防署など地域との連携を図る。

#### ② 個々の生徒に応じた指導・支援の工夫・改善

巡回指導拠点校の機能を活用して、個別の教育ニーズ、多様で柔軟な仕組みの学びの場を整備し、共同学習を推進する。個別最適な学びの支援を工夫し、一人一人の能力を最大限に伸ばす。

#### ③ 外部人材を生かした継続的なキャリア教育

公認会計士・税理士によるキャリア教育を全学年で継続的に実施する。経営体験授業によって、働くことの意義の理解・望ましい職業観の形成を図る。

### 【3 目指す学校像】

- 生徒が安心して、本気で学べる学校
- 生徒一人一人の良さや力が発揮される学校
- 安心して本気で学べる学校は、楽しい。
- 安心して本気で学べる学校は、お互いを励まし合い、認め合える。
- 安心して本気で学べる学校は、自信を生む。

- (1) 生徒一人一人の良さや実力が発揮され、自己有用感を高められる学校
- (2) 人権を尊重し、生徒が互いに認め合い、高め合える学校
- (3) 分かる授業を目指し、教師の授業力の向上と生徒の学習意欲を高める学校
- (4) 善悪のけじめがあり、生徒の自律を目指す学校
- (5) 保護者や地域と一体となって生徒の教育に取り組む信頼される学校

#### 【4 目指す生徒像】

- (1) 自主的に考え、表現でき、学び続けることのできる生徒 **【主体的に学ぶ力】**
  - ・基本的な知識や技能をもとに、よく考え、それをもとに判断・表現し、自ら課題に向かって学び続ける生徒
- (2) 人を思いやり、人権を尊重し、規範意識の高い生徒 **【共感する力】**
  - ・思いやりと感謝の心もち、他者を尊重し認め合いながら、よく協力し、責任を果たす生徒
  - ・正しい判断力を身に付け、当たり前前が当たり前前のできる生徒
- (3) 身体や心の安全・安心を目指し、やるべきことを正しく行い、地域に貢献できる生徒 **【貢献する力】**
  - ・基本的生活習慣を身に付け、自ら心身を大切に、共にたくましく生きる生徒
  - ・地域に学び、まちづくりの一翼を意欲的に担い、社会に貢献しようとする生徒

#### 【5 目指す教職員像】

- (1) 教育公務員としての使命を果たし、人権感覚や倫理観、規範意識を高め、組織の一員として学校運営に貢献する教職員（適切な言語感覚・体罰厳禁・高い危機管理意識）
- (2) 目指す学校像や目指す生徒像の実現に向けて、資質・能力の向上に努める教職員
- (3) 生徒一人一人の個性や特性を認め、その伸長に努める教職員
- (4) コミュニティスクール（CS）のねらいを踏まえ、保護者や地域と連携・協力する教職員

#### 【6 教育活動を達成するための重点方策】

- (1) **確かな学力の定着と豊かな個性を伸長する教育の推進** *「学習は未来への準備」*
  - ① 分かる授業を推進し、必要な知識・技能の習得を図る。
  - ② 本時のねらいを明確に示し、振り返りを徹底することにより、子どもたち自身に達成感を自覚させ、学びに向かう態度の育成を図るとともに、知識や技能、思考力や判断力の定着を図る。
  - ③ ICT を効果的に活用し、視覚を効果的に生かした学習や探究的な活動を充実させる。
  - ④ 個別最適な学びと協働学習に努め、個々の習得に合わせた学びを推進する。
  - ⑤ 巡回指導拠点校としての機能を生かし、学びの支援やインクルーシブ教育の充実を図る。
  - ⑥ 確かな学力の定着を図るために、家庭と連携し、自主的な家庭学習の習慣を育成する。
  - ⑦ 道徳教育推進教員を中心に、よりよい生き方を考えていく道徳科を推進し、自分の思いを表現し、他者との相互理解を図る。
- (2) **人権教育と豊かな心を育む教育の推進** *「豊かな人間性と規範意識の育成」*
  - ① 人権教育を推進し、自他を尊重する心を育む。
  - ② 礼節を身に付けさせ、規範意識や自尊感情を高める教育を推進する。
  - ③ いじめや暴力を絶対許さないという姿勢で指導を行い、自らの生命を大切にするとともに、他者の生命も尊重する態度の育成を図る。「いじめ防止対策推進条例」及び「いじめ防止対策基本方針」に基づき、i-check を活用し、組織的にいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
  - ④ 生徒に活躍の場をつくり、自己肯定感や自己有用感を育み、自己受容や自己理解につなげる。
  - ⑤ 生徒会や委員会活動等の自治的活動を通して、課題に対して深く考え、発信する力を育てる。
  - ⑥ 移動教室や修学旅行や文化・芸術に触れる体験を通して、感性豊かな心を育む。
  - ⑦ 地域の方々との学びを通して、地域社会に意欲的に貢献できる生徒を育てる。
  - ⑧ 自らの生き方を考え、将来に向けて夢を抱くことができるキャリア教育を推進する。
- (3) **健やかな体の育成と健康教育の推進** *「豊かな生活の基盤となる体力の向上」*
  - ① 基礎体力の定着を図り、生涯を通して健康でたくましく生きていくための体力の向上を図る。
  - ② 運動の多様な楽しみ方を共有する保健体育の授業に取り組む。体育的行事や運動部活動等を通して、健康でたくましく生きていくための体力の向上を育成する。

- ③ 家庭と連携し、主体的に健康維持に努める意識の向上と安全に配慮して生活する態度を養う。
- ④ 健康指導に取り組み、健康の維持増進・体力向上に努める生徒を育てる。

#### **(4) 一人一人を大切にす教育の推進 「自分に合った学びによる生徒の能力の伸長」**

- ① 生徒一人一人が「分かった、できた」という達成感、学びがいを得られる生徒指導を展開する。
- ② 丁寧な生徒理解に努め、成長や変容を認め励まし、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、不登校の未然防止に努める。
- ③ 生徒の特性を的確に把握し、学校と家庭及び関係諸機関と連携し、組織的な支援を行う。
- ④ 特別支援教育の充実：特別支援教室（S-room 千川）
  - ・ 個別指導計画及び個別の教育支援計画に基づき、一人ひとりの能力が最大限に伸長する適切な指導の工夫を推進する。
  - ・ 特別支援コーディネーターを中心に、巡回指導教員、SC、SSW、特別支援教室専門員、臨床発達心理士、不登校（別室）対策支援員等が円滑で効果的な連携を図り、将来の社会的自立に向けた一貫性のある支援体制を構築する。
- ⑤ 別室支援（やすまる一む）を活用し、不登校や不登校傾向にある子ども、学校生活の適応に対してさまざまな課題を抱えた子どもたちに寄り添い、誰一人取り残さない教育に取り組む。

#### **(5) 安全・安心な学校づくりと教育環境の充実 「安心して、本気で学べる学校の創造」**

- ① 安心して本気で学べる学級・認め合える学級・自己有用感を高められる学級づくりを推進する。
- ② 教師と生徒とのコミュニケーションの機会を大切にし、丁寧な生徒理解に努める。
- ③ 充実した教育環境を創造し、生徒が楽しく過ごせる学校づくり（居場所づくり）を推進する。
- ④ 地域の町会・消防団を含む地域ボランティア・消防署など、地域との連携を図り、地域の貢献できる安全教育・防災教育を推進し、安全・安心な学校やまちづくりの意識を高める。
- ⑤ 発災時の対応力や実践力を身に付ける活動に取り組む。
- ⑥ 報告・連絡・相談を常とし、組織的かつ丁寧な課題対応と解決を図る。
- ⑦ 情報モラルやSNS及び情報セキュリティ意識の向上を図るため、家庭とも連携し、実践的な教育活動を推進する。（セーフティ教室等）
- ⑧ 計画的な安全指導（避難訓練・不審者対応訓練）を実施する。
- ⑨ 食物アレルギー等への安全な対応を推進し、安全な給食指導の徹底に取り組む。

#### **(6) 家庭・地域社会との連携・協働 「地域や保護者とのネットワークの確立」**

- ① 社会と連携・協働しながら新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、地域人材を積極的に活用し、社会とのつながりを意識した学びを推進する。
- ② 学校運営協議会（CS）による協働体制を構築し、学校運営を充実・発展させる。
- ③ 教育活動を地域に積極的に公開し、理解と協力を得ながら課題の明確化と一層の充実に努める。
- ④ 小中連携教育の充実を図り、義務教育9年間の学びの連続性を意識した学習指導及び生活指導を共有し、確かな力を身に付けるための指導を推進する。
- ⑤ 学校評価を活用したPDCAサイクルにより、課題の検討・改善を図り、教育活動を実現する。

### **【7 教職員一人一人の心身の健康維持の推進】**

- (1) チーム学校としての体制を整備し、組織的な対応（学年・分掌・全体）を推進する。
- (2) 教えることにやりがいを持ち、笑顔で子どもに寄り添える教職員であるために、働き方を見直しつつ、教育活動の充実を図る。
- (3) 互いに助け合える職場風土の構築を図る。